



どろんこみずっこ

発行
2024/12/13
第17号
にしき学童

あっという間に12月、もうすぐ冬休み、こどもたちにとっては、クリスマスにお正月と、嬉しい日が続きますね。6年生から、「今年は6年会議が少な、気がする」「これからやりたことがある」と申し出がありました。(例年通りなんですけど…)話し合いを持ち、実行委員会方式でクリスマス会を実施することになりました。鈴奈⑥とほ心遥⑤が中心になって、企画を進めています。

【穴が掘りたい！】

「どうせやるならでっかい穴をどうぞ」と始まった穴掘り、智悟④裕貴④で、庭の真ん中を地道に掘り続けかなり深くなりました。途中で、真広③、桧都③、碧人④、理⑤も参戦しました。お迎えの父母から「何してるんですか？」「穴掘ってどうするんですか？」と、聞かれます。何かいいことが発見できるのかもしれませんが、来年の“学童まつり”までには埋める事、夏には刈った草を入れさせてもらう事を約束しました。帰ってきたら掘り、1日中掘ってる日もあれば、途中でサッカーをしに行く日もありますが、投光器を借りお迎えまで掘っています。危険なので横穴はほらないように伝え、シャベルを振り上げないように見守っています。夏休みの庭当番の時はちょっとしか掘れなかった穴ですが、自分の意思で掘るとこんなに掘れるんですね。穴掘り隊じゃない子も、穴に入らせてもらっています。終了後は、コンパネとスノコで蓋をしています。いつまで続くのかな～。



【100段うんこ】

山から帰って来たおと①、恭太郎①、稜葵①と絵を描いていました。稜葵は帰ってしまいましたが、恭太郎が怪獣の絵にうんこをたくさん描いていました。なんでこんなにうんこが好きなのでしょう。今バイトに来ている佑樹が小学生の時100段うんこを描いた話をすると、俄然張り切り出した恭太郎、おとも嬉しそうに描きました。2人のうんこは何段になったでしょう。掲示看板に貼ってありますので数えてみて下さい。

【野本・記】